

## 潮見小児童招き 現場の魅力PR

早水組が見学会

【網走】早水組（本社・網走、早水誠社長）は2日、自社で施工するオホーツク公園遊具広場整備の現場に網走市立潮見小児童を招き、完成した遊具に触れながら建設業の魅力を伝えた。写真。



網走の仕事調べ、体験する総合学習を実施している同小の要望を受け企画。5年生の5人が来訪した。

まず公園内の事務所に入り、遊具の施工状況や建設業の役割などを映像で学習。その後、現場へ移動し、同社の山内健嗣課長らが、完成した施設や施工中の水路などを紹介した。児童たちはデジタルカメラを片手に施工風景を写したり、どうやって工事が進むのかなどと積極的に質問。

山内課長は「授業をきっかけに将来、建設業に携わりたいと思ってもらえれば」と話していた。

早水組が小学生招き現場見学会  
**建設業への関心高めて！**  
**工事の様子を楽しく学習**

【網走発】網走市内で道立公園整備関連工事を請け負う(株)早水組(網走、早水誠社長)は二日、地元小学生を対象に現場見学会を開催した。

現場は網走建管発注の「オホーツク公園遊具広場整備補正繰越」。網走市立潮見小学校の総合的な学習の時間「調べて・感じて・再発見」網走のお仕事の一環で、ことし二回目の見学会となる。

当日は、潮見小の五年生六人と、引率教諭一人の計七人を招待。同社の山内建嗣現場代理人をはじめ、約十人が案内役を務めた。

現場での見学に先立ち、事務所では工事概要を説明。パワーポイントで、公園の図面や作業の進め方などを丁寧に紹介した。児童たちは、現場を見に行くのが楽



しみな様子で、そわそわしながらも熱心にメモを取っていた。

現場では張芝、側溝、張芝の下地の三カ所に分か

れ、職員とともにそれぞれ見学。このほか、園内をくまなく周り、足つぼマッサーシなど遊具の施工状況を楽しみながら学んだ。写真。質疑応答では、「これはどういうふうに設置するの?」「現場が終わったらこれはどうなるの?」など積極的に質問し、職員らは分かりやすく回答していた。

山内現場代理人は、今回の見学会を通じて「少しでも建設業に興味をもってもらえれば」と期待を寄せている。